

第 1 号 報 告

事 業 報 告 書

— 平成 26 年度 —

(第 6 期)

自:平成 26 年 4 月 1 日

至:平成 27 年 3 月 31 日

1 当学会の現況

会員数の推移

会員種別	平成 26 年 3 月 31 日現在	入会者	退会者	平成 27 年 3 月 31 日現在
正会員	142	36	19	159
学生会員	20	15	3	32
賛助会員	9	2	1	10
公益会員	1	2	0	3
名誉会員	0	0	0	0
総会員数	172	55	23	204

役員に関する事項

現在の役員は以下の通りである。

代表理事 柴田 良一 会長

理事 石津 陽平

理事 今野 雅

理事 大島 聡史

理事 大淵 真志

理事 芝 世式

理事 高木 洋平

理事 中川 慎二

理事 新倉 寿夫

理事 西 剛伺

理事 野村 悦治

監事 大嶋 拓也

監事 吉田 正典

主たる事務所の住所

東京都千代田区外神田 6 丁目 15 番 4 号

事務局の住所等

東京都千代田区外神田 6 丁目 15 番 4 号（株式会社 爆発研究所 内）

TEL: 03-6803-2263 FAX: 03-6803-2264

2 総括

当学会第 6 期の平成 26 年度は、総会員数が平成 25 年度末時点よりおよそ 19% 増加し、平成 26 年度末の時点で正会員 159 名を含む総会員数 204 となった。継続的に増加傾向を維持している。

この会員増は、理事をはじめとする会員諸氏の努力の賜物であると同時に、オープン CAE ソフトウェアが従来にもまして重要となってきたことの現れとも考えるべきであり、当学会の役割と責任も大きくなってきているように思われる。

従来から注目されているオープン CAE ソフトウェアでは、流体解析システムの OpenFOAM や構造解析システムの Salome-Meca などは、定期的なバージョンアップを計画的に行い、地道ながら様々な場面で活用されている。

さらにはこれらに関わる支援ツールとして、国産で学会員の開発成果である TreeFoam (OpenFOAM の解析支援ツール) や、Wizard カスタマイズ (Salome-Meca の簡易解析ツール) なども展開している。我が国におけるこれらをはじめとするオープンソースに関する活動は、ビジネスであるとないとにかかわらず、非常に盛んになってきている。

当学会としては、このような状況を背景に、正会員・学会会員諸氏や賛助会員・公益会員各社団体に、どのようなサービスを提供するか議論しつつ歩んできているが、今後とも、オープン CAE を取り巻く状況の進展を見ながら、計算科学分野におけるオープンソース、フリーソフトウェアを主とする技術の発展、普及を図り、もって文化の向上に貢献していく所存である。

3 事業活動報告

平成 26 年度の事業計画に沿って活動の概況を報告する。

3.1 社員総会

3.1.1 定時社員総会

開催日時

平成 26 年 6 月 21 日(金曜日) 16:40~18:00

開催場所

ルーテル市ヶ谷センター 会議室

正会員現在数及び定足数

正会員現在数:149 名 定足数:75 名

出席正会員数

100 名

(内訳)

出席者数:24 名

電磁的方法による委任:76 名

うち議長を代理人にする者:76 名, 出席する他の正会員を代理人にする者:0 名

議事

報告事項	第 1 号報告	『平成 25 年度事業報告』	
決議事項	第 1 号議案	『平成 25 年度決算報告』	可決
	第 2 号議案	『平成 26 年度事業計画』	可決
	第 3 号議案	『平成 26 年度収支予算』	可決
	第 4 号議案	『平成 27 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』	可決

3.2 公益目的事業

3.2.1 平成 26 年度オープン CAE 講習会

開催日

2014年6月21日

開催場所

ルーテル市ヶ谷センター

概要

講習会, 懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講習会:29名, 懇親会:24名

3.2.2 オープンCAEシンポジウム2014

開催日

2014年11月13日, 14日

開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター

概要

講演会, 講習会, 懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講演会:93名, 講習会:49名, 懇親会:52名

3.2.3 オープンCAEサマースクール2014

開催日

2014年8月29日～31日

開催場所

京都トラベラーズ・イン

概要

講義・演習, 懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

19名

3.2.4 オープンCAE講習会(岡山)

開催日

2015年3月21日

開催場所

岡山県立大学

概要

講習会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

14名

3.2.5 ホームページの拡充

1. 各担当理事による情報発信を積極的に進めることとし、学会活動の基盤としての活用方法を検討した。
2. アジア・環太平洋地域 OpenFOAM コミュニティ向けのページ作成を検討したが、実現には至っていない。
3. ホームページのドメインを opencae.or.jp へ変更した。また、セキュリティ対策および管理運用の利便性向上のため、ホームページ運用サーバの移行とコンテンツマネジメントシステムのひとつである WordPress の導入を決定した。(27 年度実施予定)
4. ウェブ広報の一貫として、会員向けのニュースレター 2014 年第 01 号～第 07 号, 2015 年第 01 号～第 02 号を配信した。

3.2.6 会員サポート

各地のオープン CAE 勉強会での発表を発表毎に動画コンテンツに編集し、動画共有サイトへアップロードした。また、これまで明確な規定のなかったオープン CAE 勉強会の公認および支援について、後援規定を定め正式に後援を行うこととした。後援内容については、各勉強会からの意見も取り入れながら、今後適宜検討と見直しを行う。

3.2.7 他学会との交流

かねてより検討を進めていた CAE 懇話会との相互入会が完了し、行事告知等において連携態勢を整えた。また、平成 26 年 12 月 2 日, 3 日開催の化学工学会関西支部主催の講習会に共催し、会場での物販等を行った。

3.2.8 日本語版 Unofficial OpenFOAM wiki

Unofficial OpenFOAM wiki (<https://openfoamwiki.net/>) の管理者である Bernhard Gschaidler 氏 の了承を得て、日本語版の Unofficial OpenFOAM wiki サイト(<http://www.opencae.jp/openfoamwikija>) を開設した。今後 Unofficial OpenFOAM wiki のコンテンツを随時和訳・部分公開していく予定である。

3.2.9 OpenFOAM 推奨設定研究分科会の設置

OpenFOAM の普及促進を目的として、解析内容に対応した安定かつ精度が概ね良い解析条件の推奨設定を研究する分科会を設置した。

安定かつ精度が概ね良い解析条件は、解析対象のみならず、境界条件、格子の品質統計情報および線型ソルバー等の設定に依存するので、これらの解析情報をできるだけ多く蓄積し解析する必要がある。

そこで、初年度は、解析情報をオープン CAE 学会のデータ取得サーバに送るための解析情報フィードバック用ライブラリを作成し、学会の WEB ページでソースと共に配布する予定である。

また、次年度以降は、解析情報フィードバック用ライブラリをリンクして OpenFOAM を実行した場合に、解析条件に関するワーニングやサジェスションを自動的に表示させる機能を実装することを目標とする。

3.3 収益事業

3.3.1 出版事業

OpenFOAM (R) ユーザガイド Version 2.2.0, プログラマズガイド和訳 Version 2.1.0 の販売を継続した。

3.3.2 DVD 等事業

平成 26 年度オープン CAE 講習会 USB メモリセットを製作、販売した。

DEXCS2014 for OpenFOAM (R) 特別版の DVD 製作販売は行わなかった。

3.3.3 講師派遣事業

Web サイト内に講師派遣事業に関する専用ページを作成する計画であったが実現には至っていない。
また平成 26 年度には、講師派遣の依頼はなかった。

3.4 理事会

3.4.1 第 1 回理事会

開催場所 日本イーエスアイ株式会社 会議室

開催日時 平成 26 年 5 月 17 日 10 時 00 分～12 時 00 分

議事 決議事項 第 1 号議案 『 第 5 回定時社員総会の招集 』
第 2 号議案 『 平成 26 年度予算案について 』
第 3 号議案 『 社員総会併設講習会の開催概要 』
第 4 号議案 『 事務局業務委託先の一本化について 』
第 5 号議案 『 会員情報管理プラグインの開発委託について 』
第 6 号議案 『 旧版書籍の在庫活用について 』

報告事項 ① 平成 25 年度決算内容の報告

協議事項 ① 平成 25 年度事業報告及び平成 26 年度事業計画の策定について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 第 5 回定時社員総会の招集 』

本議案は、第 5 回定時社員総会の概要及び招集について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 開催日時：平成 26 年 6 月 21 日 16:40～18:00
- 開催場所：ルーテル市ヶ谷センター 第 1 会議室
- 議案：
(報告事項)
 - 平成 25 年度事業報告
(決議事項)
 - 平成 25 年度決算報告
 - 平成 26 年度事業計画
 - 平成 26 年度収支予算
 - 平成 27 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置
- 欠席社員の議決権行使：電磁的方法により委任状を提出することができる。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 平成 26 年度予算案について 』

平成 26 年度予算案の策定にあたり、下記の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 各事業部門への共通経費の配賦について、平成 25 年度までは固定割合(公益 4:収益 1:法人 5)に基づき配賦を行っていたが、26 年度より各部門の該当年度の収入比率に応じた配賦へ変更する。
- アジア地域でのワークショップ開催に係る準備金として、26 年度予算へ 50 万円を計上する。

第 3 号議案 『 社員総会併設講習会の開催概要 』

平成 26 年度定時社員総会に併設して開催する講習会について、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- ・ 2 会場での並列開催, それぞれ流体講座 3 コマ, 構造講座 3 コマを開講する。
- ・ 参加者へ演習環境と資料を収録したブータブル USB メモリを配布する。

第 4 号議案 『 事務局業務委託先の一本化について 』

柴田代表理事より議案についての説明がなされた。説明によると、会員情報の管理について会員より指摘があり、会員情報管理体制の見直しを迫られており、事務局業務の効率化を図る意味からも、事務局の運営体制を見直してはいかかとのことであった。具体的には、

- ・ 現在、会員情報管理を田辺氏、その他の業務を爆発研究所に委託しているが、今後は爆発研究所へ一括して委託する。
- ・ 会員情報管理システムの開発を具体化し、次年度からの試験運用を目指す。

審議の結果、委託先を爆発研究所へ一本化することを、出席理事全員一致で可決し、具体的なタイミングや手順は、事務局内で協議のうえ進めることとした。

第 5 号議案 『 会員情報管理プラグインの開発委託について 』

柴田代表理事より、第 4 号議案での審議に基づき、学会ウェブページへの会員情報管理プラグインの追加が提案された。

審議の結果、プラグインの開発を爆発研究所へ委託すること、予算は税込 224,000 円とし、完成時期は 6 月末とすることを、出席理事全員一致で可決した。

第 5 号議案 『 旧版書籍の在庫活用について 』

商品価値が低く通常価格での販売が見込めない旧版書籍については、在庫処理と会員サービスを兼ね、イベント参加者へ無料配布することとした。無料配布は会員限定とし、なかでも学生会員へは旧版ではなく最新版を配布することを、出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

① 平成 25 年度決算内容の報告

事務局より、平成 25 年度決算の概要報告がなされた。

(協議事項)

① 平成 25 年度事業報告及び平成 26 年度事業計画の策定について

定時社員総会での報告に向け、柴田代表理事を中心に議案の文案作成を進めることとした。

特に平成 26 年度事業計画については、繰越剰余金をの会員サービスへの還元方法が協議され、下記のような案が出された。

- ・ 和訳や事例など、ウェブコンテンツの充実
- ・ 地域勉強会の運営支援, 新規勉強会の立ち上げ支援
- ・ 学会主催講習会の充実

運用方法および会員、非会員をどこまで線引するか等、実現にあたっての検討事項も多く提示され、引き続き具体的な検討を続けることとした。

3.4.2 第 2 回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成 26 年 6 月 9 日～12 日

議事 決議事項 第 1 号議案 『 平成 25 年度事業報告書 』
第 2 号議案 『 平成 25 年度決算報告書 』

第3号議案 『平成26年度事業計画書』

第4号議案 『平成26年度収支予算書』

第5号議案 『平成27年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『平成25年度事業報告書』

本議案は、第5回定時社員総会で報告する第1号報告『平成25年度事業報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第5回定時社員総会議案書の第1号報告『平成25年度事業報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第2号議案 『平成25年度決算報告書』

本議案は、第5回定時社員総会に提案する第1号議案『平成25年度決算報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第5回定時社員総会議案書の第1号議案『平成25年度決算報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第3号議案 『平成26年度事業計画書』

本議案は、第5回定時社員総会に提案する第2号議案『平成26年度事業計画書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第5回定時社員総会議案書の第2号議案『平成26年度事業計画書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第4号議案 『平成26年度収支予算書』

本議案は、第5回定時社員総会に提案する第3号議案『平成26年度収支予算書』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第5回定時社員総会議案書の第3号議案『平成26年度収支予算書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第5号議案 『平成27年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

本議案は、第5回定時社員総会に提案する第4号議案『平成27年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第5回定時社員総会議案書の第4号議案『平成27年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

3.4.3 第3回理事会

開催場所 大阪大学東京オフィス 多目的室1

開催日時 平成26年9月6日 13時00分～17時00分

議事 決議事項 第1号議案 『オープンCAE勉強会の公認手続きについて』

第2号議案 『オープンCAEシンポジウム2014について』

第3号議案 『ドメインの変更について』

第4号議案 『平成26年度オープンCAE講習会 USBメモリの販売について』

第5号議案 『イベントおよび勉強会の動画について』

第6号議案 『化学工学会講習会の共催について』

報告事項 ① オープンCAEサマースクール2014開催報告

② OpenFOAM入門書籍の刊行準備状況について

③ RIST主催ワークショップでの発表について

④ OpenFOAM Workshop参加報告

協議事項 ① サーバー、ウェブサイトの管理について

② 講師依頼時の取り決めについて

③ ニュースレター掲載基準について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『オープンCAE勉強会の公認手続きについて』

今野理事より議案の説明がなされた。説明によると、公認手続きについて勉強会幹事より要件定義と明文化の依頼があり、公平性および濫用防止の観点から、当学会としての規定を定めるべきではないかとのことであった。協議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 名称は「公認」ではなく「後援」とする。
- 幹事が学会員であること、幹事の住所及び連絡先を学会事務局で届け出ることを要件とする。
- 支援内容は、広報支援および学会住所への勉強会本部設置(公的書類への住所表記)の許諾の2点を主とする。会場費など金銭的な支援も視野に入れ、今後の支援拡大と連携強化を検討する。

決議内容を受け、今野理事が各勉強会幹事との調整を進めることとなった。

第2号議案 『オープンCAEシンポジウム2014について』

現地実行委員長である西理事より、実行委員会の活動報告および検討事項の説明がなされた。審議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- トレーニングは流体系3コマ、構造系3コマとし、参加者へ資料及び演習環境を収録したブータブルUSBメモリを配布する。
- トレーニングと講演会は別会計とし、それぞれ収益確保を目指す。
- セッションおよび講演発表者への参加費の優遇は行わない。
- セッション募集にあたっての検討事項を調整のうえ、早急にウェブページを公開する。

第3号議案 『ドメインの変更について』

現在の opencae.jp から opencae.or.jp へドメイン移管を行うことと、出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 『平成26年度オープンCAE講習会 USBメモリの販売について』

平成26年6月に開催したオープンCAE講習会のUSBメモリセット(ブータブルUSB、動画収録USB)を、ウェブページ及びイベント会場にて販売することを、出席理事全員一致で可決した。事務局にて販売ウェブページを作成、公開することとした。

第5号議案 『イベントおよび勉強会の動画について』

シンポジウム2013の動画編集謝金として、斉藤尚哉様へ46,000円を支払うことを、出席理事全員一致で可決した。またVimeoによるイベント動画の販売は以後中止することとした。

第6号議案 『化学工学会との講習会共催について』

昨年度に続き、12月2日から3日にかけて開催される講習会「ゼロからできるCFD-攪拌槽解析を目指して」へ共催を行うことを、出席理事全員一致で可決した。担当の高木理事より、費用及び収益の配分はなく、会場にて書籍販売を行う予定であるとの報告がなされた。

(報告事項)

① オープン CAE サマースクール 2014 開催報告

高木理事より、オープン CAE サマースクール 2014 の開催報告がなされた。

② OpenFOAM 入門書籍の刊行準備状況について

今野理事より、OpenFOAM 入門書版の刊行準備状況について報告がなされた。

③ RIST 主催ワークショップでの発表について

事務局より、一般財団法人高度情報科学技術研究機構 (RIST) 主催の「第 2 回 OpenFOAM ワークショップ」において、先方から依頼があり当学会より発表者を出すこととなった旨の報告がなされた。

④ OpenFOAM Workshop 参加報告

中川理事より、OpenFOAM Workshop2014 への参加報告がなされた。

(協議事項)

① サーバー、ウェブサイトの管理について

ウェブサーバー及びウェブコンテンツの更新について正式な担当者を定めることが提案されたが、適任者の選任には至らず、引き続き検討を続けることとなった。特にウェブサーバーについては、セキュリティ上のリスクを考慮した対応が必要であるとの認識の共有がなされた。

② 講師依頼時の取り決めについて

高木理事より、講習会講師を外部へ依頼する際の規定を整備してはいかかとの提案がなされた。具体的には、講師謝金および原稿料、原稿著作権に関する規定を設けることで外部講師依頼の円滑化を目指す。大淵理事にて講師料規定を整備し、シンポジウム 2014 で適用、適宜見直しを加えることとした。

③ ニュースレターへの告知掲載基準について

賛助会員や公益会員からのイベント告知をニュースレターに掲載する際、掲載基準を定めることで配信を迅速化してはいかかとの提案がなされた。しかし、基準を策定することで会員への有益な情報配信の機会を減らして損ねてしまうのではないかと、いった懸念が挙げられたため、当面は明確な基準を設けず個別に対応を行うこととなった。

3.4.4 第 4 回理事会

開催場所 大阪大学東京オフィス 多目的室 1

開催日時 平成 26 年 9 月 6 日 13 時 00 分～17 時 00 分

議事 決議事項 第 1 号議案 『 オープン CAE 勉強会の後援手続きについて 』

第 2 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2014 について 』

第 3 号議案 『 講習会講師謝金規定の策定について 』

第 4 号議案 『 ウェブサーバーの移行及び会員情報の管理について 』

第 5 号議案 『 日本語版 Unofficial OpenFOAM wiki の立ち上げについて 』

第 6 号議案 『 ソフトウェアマニュアル翻訳・製本サービスについて 』

第 7 号議案 『 平成 27 年度定時社員総会及び講習会の開催概要について 』

第 8 号議案 『 2014 年度田辺賞の授与について 』

報告事項 ① OpenFOAM 入門書籍の刊行準備状況について

② The ParaView Tutorial 最新版和訳プロジェクトの進捗状況について

- 協議事項
- ① 次期役員を選出について
 - ② 紙媒体による記録集の作成について
 - ③ 部門理事会の立ち上げについて
 - ④ サマースクール 2015 実行委員長の選任について
 - ⑤ 他団体との行事共催について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 オープン CAE 勉強会の後援手続きについて 』

今野理事より後援規定及び後援申請書の原案が示され、出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2014 について 』

現地実行委員長である西理事より、実行委員会の活動報告および検討事項の説明がなされた。審議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- ・ 賛助会員及び公益会員は旧版書籍の無料配布の対象外とする。
- ・ パネルディスカッションの最後に来年度のイベント告知を行う。
- ・ トレーニング終了後に会場にて第 5 回理事会を開催する。

また、次回開催に向けての検討項目として以下の事項が挙げられた。

- ・ トレーニング最少催行人数の設定
- ・ 早期申込み割引の設定
- ・ 予稿集の作成
- ・ プログラムの早期確定

第 3 号議案 『 講習会講師謝金規定の策定について 』

大淵理事より、講習会講師謝金規定の原案が示された。協議の結果、一部修正を加えた形で出席理事全員一致で可決し、シンポジウム 2014 より適用することとした。

第 4 号議案 『 ウェブサーバーの移行及び会員情報の管理について 』

今野理事より議案の説明がなされた。説明によると、セキュリティ及び管理の問題からウェブサーバーを移行する必要があり、それに伴いウェブページの運用を Trac から WordPress へ移行してはいかかとのことであった。協議の結果、ウェブページの WordPress 移行及びサーバー上での個人情報管理の推進を取りやめることを、出席理事全員一致で可決した。ウェブページ移行作業は株式会社爆発研究所へ委託することとし、未着手である会員情報管理プラグイン作成の予算(税込 224,000 円)を充当することとした。

第 5 号議案 『 日本語版 Unofficial OpenFOAM wiki の立ち上げについて 』

大淵理事、今野理事より、MediaWiki 立ち上げの提案がなされた。協議の結果、出席理事全員一致で可決され、和訳作業の外注費として今年度 20 万円の予算が承認された。

第 6 号議案 『 ソフトウェアマニュアル翻訳・製本サービスについて 』

高木理事、今野理事より、ユーザガイド等マニュアル整備および英訳の提案がなされた。協議の結果、出席理事全員一致で可決され、更新及び英訳作業の外注費として、今年度 20 万円の予算が承認された。

第 7 号議案 『 平成 27 年度定時社員総会及び講習会の開催概要について 』

次年度の定時社員総会及び講習会について、2015 年 5 月 30 日(土)にルーテル市ヶ谷で開催することを、出席理事全員一致で可決した。

第 8 号議案 『 2014 年度田辺賞の授与について 』

オープン CAE 勉強会の創設者である小縣氏、柴田氏の両名へ、2014 年度田辺賞を授与することを出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

① OpenFOAM 入門書籍の刊行準備状況について

今野理事より、OpenFOAM 入門書版の刊行準備状況について報告がなされた。

② The ParaView Tutorial 最新版和訳プロジェクトの進捗状況について

今野理事より、The ParaView Tutorial 最新版和訳プロジェクトの進捗について報告がなされた。

(協議事項)

① 次期役員の選出について

来年度定時社員総会における役員の改選に向け、柴田代表理事より現任理事へ留任意向の確認を行うこととした。

② 紙媒体による記録集の作成について

オープン CAE シンポジウム 2015 より、予稿もしくはアブストラクトを集めた記録媒体の作成を検討することとした。

③ 部門理事会の立ち上げについて

柴田代表理事より、理事会の円滑な運営のため、検討や協議を担う部門理事会を立ち上げ、理事会では決裁のみを行うこととしてはいかがかと提案がなされた。

④ サマースクール 2015 実行委員会の立ち上げについて

中川理事もしくは高木理事を実行委員長とすることとした。中川理事はシンポジウム 2015 の実行委員長を務める可能性があり、その場合は高木理事を実行委員長として、実行委員会を組織することとした。

⑤ 他団体との行事共催について

行事を共催する機会が増えたため、手順や枠組みを整備してはいかがかと提案がなされた。

3.4.5 第 5 回理事会

開催場所 オリンピック記念青少年総合センター センター棟 415 室

開催日時 平成 26 年 11 月 13 日 19 時 00 分～20 時 00 分

議事 決議事項 第 1 号議案 『オープン CAE シンポジウム 2015 の開催概要について』

第 2 号議案 『ウェブサーバーの移行について』

報告事項 ① オープン CAE シンポジウム 2014 初日の概況について

協議事項 ① オープン CAE 勉強会後援規定の開示について

② 次期役員の選出について

③ 講習会資料のライセンス表記について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『オープン CAE シンポジウム 2015 の開催概要について』

協議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 開催時期を 2015 年 10 月もしくは 11 月とする。他イベントとの重複、会場の空き状況を考慮のうえ日程を確定する。
- 開催地を富山県とする。大都市圏外での開催となるため、告知と広報を早期に開始し、集客の確保に勤める。

- 大会実行委員長を中川理事とする。

第2号議案『ウェブサーバーの移行について』

MediaWiki及びWordPressの双方が導入可能な発注仕様を作成のうえ、委託先である株式会社爆発研究所へ正式依頼することとし、MediaWiki仕様およびWordPressとの分離管理について、出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

① オープンCAEシンポジウム2014初日の概況について

現地実行委員長の西理事より、参加者数及び2日目準備状況について報告がなされた。

(協議事項)

① オープンCAE勉強会後援規定の開示について

非会員である勉強会参加者へも後援規定を開示することとした。

② 次期役員の選出について

年度内に次期新任理事の候補を選定することとした。選定方法について、立候補及び推薦の他、賛助会員への打診が提案された。

③ 講習会資料のライセンス表記について

配布資料の流用や2次利用を抑制するため、Copyright対応と免債事項を記載したテンプレートを作成することとした。権利問題については、クリエイティブ・コモン CC BY-NC4.0に従うこととする。参加者所属組織内での利用は特段制限しないが、複数名での利用(勉強会など)にあたっては事前申告を求めることとした。

3.4.6 第6回理事会

開催場所 日本イーエスアイ株式会社 会議室

開催日時 平成27年1月24日 10時00分～12時45分

議事 決議事項 第1号議案『シンポジウム2015について』

第2号議案『平成26年度3月講習会について』

第3号議案『学会サーバーの移行について』

第4号議案『最適化に関する分科会について』

第5号議案『V&V委員会レポジトリ整備について』

第6号議案『ビックデータに基づくオープンソースCFDソルバの解析条件自動設定に関する研究分科会について』

報告事項 ① OpenFOAM 入門書籍の刊行準備状況について

② The ParaView Tutorial 最新版和訳プロジェクトの進捗状況について

③ 平成27年度年会費の請求について

④ 関西CAE懇話会幹事の兼任について

協議事項 ① 勉強会ロゴの作成について

② 次期役員の選出について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『シンポジウム2015について』

実行委員長である中川理事より状況報告がなされた。協議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 開催日を2015年11月27日(金)～29日(日)とする。
- 会場を富山国際会議場 多目的会議室 201, 202, 203 号室とする。
- 従来のトレーニング、講演会に加え、オプションツアーやエクスカージョンの実施を検討する。
- 富山のオープン CAE 勉強会参加メンバーを中心に現地実行委員会を組織する。セッション等の担当についてが、現地実行委員以外からも幅広く適任者を募る。
- トレーニングと講演会は独立採算とする。

第2号議案『平成26年度3月講習会について』

担当理事である芝理事より状況報告がなされた。協議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 開催日を2015年3月21日(土)とする。
- 会場を岡山県立大学 学部共通棟とする。
- 流体、構造の並列開催とし、芝理事と柴田理事を講師とする。
- 参加費を会員4,000円、非会員8,000円とする。学生はそれぞれ半額とする。講習会単独では初の地方開催の試みであることから、採算よりも地域振興に主眼を置くこととする。

第3号議案『学会サーバーの移行について』

委託先の株式会社爆発研究所より見積額が提示された。納期について、MediaWiki 設置を2月末、WordPress 移行を3月末で対応可能であるかあらかじめ確認を行うこととした。また、今期の MwdiaWiki に関する担当を今野理事とすることとした。

第4号議案『最適化に関する分科会について』

今野理事より議案の説明がなされた。説明によると、オープン CAE を用いた最適化について関心は高いものの、現在のところユーザーや情報が少ない。学会内で分科会を組織し、講習会開催やドキュメント整備を進めてはかがとのことであった。協議の結果、分科会の立ち上げを出席理事全員一致で可決した。

第5号議案『V&V委員会レポジトリ整備について』

今野理事より議案の説明がなされた。説明によると、V&V委員会レポジトリをより充実させるべく、アルバイト等へ外注作業を依頼したいとのことであった。協議の結果、今期の V&V 委員会旅費予算を外注費へ充てることを、出席理事全員一致で可決した。

第6号議案『ビックデータに基づくオープンソース CFD ソルバの解析条件自動設定に関する研究分科会について』

今野理事より議案の説明がなされた。データ蓄積およびライブラリ普及等を目的とした「ビックデータに基づくオープンソース CFD ソルバの解析条件自動設定に関する研究分科会」の立ち上げ、継続的な予算の割り当てを求めるもので、協議の結果、以下の事項を出席理事全員一致で可決した。

- 今野理事を担当とした研究分科会の立ち上げを承認する。
- サーバー設定などスタートアップ予算として40万円を平成年度27年度予算案へ計上する。
- 平成27年度以降は、最小で年間約30万円の予算割り当てを予定する。不足分については、科研費や助成金の活用を検討する。

なお、現時点では有用性が明らかとは言い難い状況であり、予算額が大きすぎるのではとの懸念も挙がった。予算の計上及び執行にあたっては学会員へ十分な説明を行い理解を求めるとともに、検証と見直しを適宜行うこととした。

(報告事項)

① OpenFOAM 入門書籍の刊行準備状況について

今野理事より、OpenFOAM 入門書版の刊行準備状況について報告がなされた。

② The ParaView Tutorial 最新版和訳プロジェクトの進捗状況について

今野理事より、The ParaView Tutorial 最新版和訳プロジェクトの進捗状況について報告がなされた。

③平成 27 年度年会費の請求について

事務局より、平成 27 年 2 月に次年度年会費の請求作業を行う旨の報告がなされた。

④ 関西 CAE 懇話会幹事の兼任について

高木理事より、関西 CAE 懇話会の幹事就任を承諾した旨の報告がなされた。これを機に、これまで以上に双方の連携を図ることが確認された。

(協議事項)

① 勉強会ロゴの作成について

勉強会参加者からの要望を受け、当学会の後援勉強会であることを示すロゴ作成を進めることとした。

② 次期役員を選出について

退任予定者からの推薦などをもとに、3 月末までに次期役員候補者を確定することが再度確認された。選任にあたっては、業務充実のための積極的な活動を重視し、欠員の充足は目的としないこととした。